

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年5月20日（水）

2 確認箇所

No. 3、4重油タンク跡地周辺（油含有土壌対策工事現場）（図1）

3 確認項目

サプレッションプール水サージタンク周辺における油含有土壌対策工事の状況

4 確認結果の概要

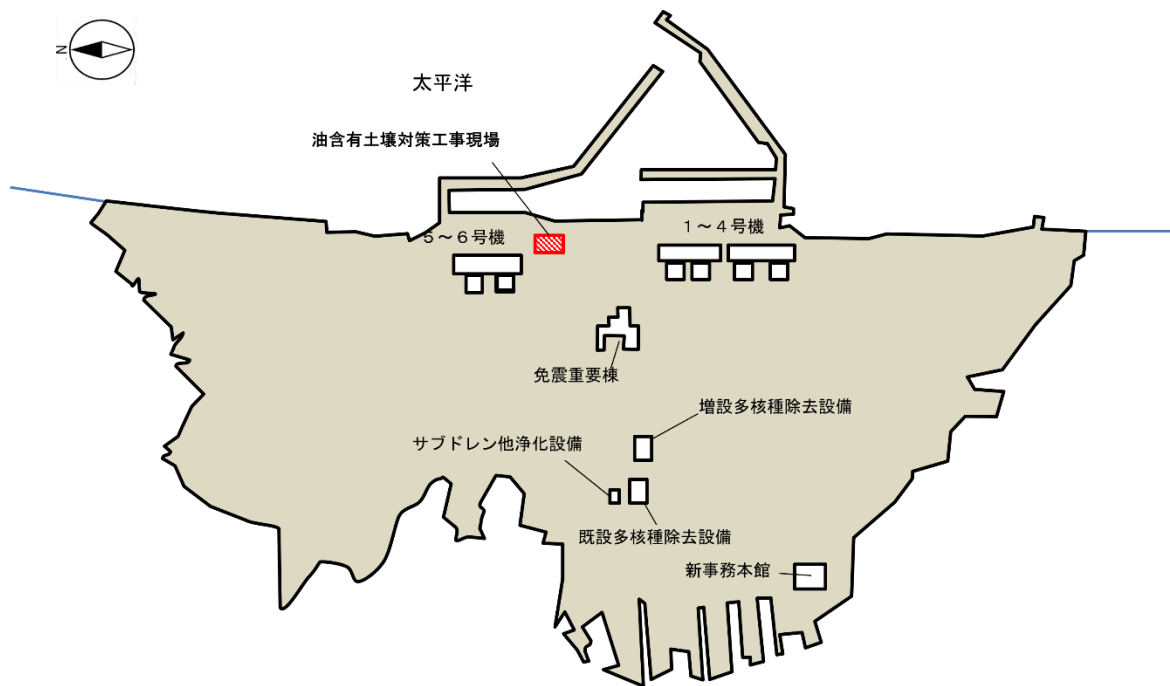
（1）サプレッションプール水サージタンク周辺における油含有土壌対策工事の状況

平成23年3月に発生した東日本大震災に伴う津波により、5・6号機のサプレッションプール水サージタンク及びNo. 3、4重油タンク（令和3年3月撤去済）が損傷を受け、周辺に流出した油が土壌に浸透した。周辺土壌から港湾への重油漏えいは確認されていないが、東京電力は、周辺土壌から港湾への流出を防ぐための抜本的な対策として油含有土壌対策工事※を進めている。

今回は、当該工事及びその周辺の状況を確認した。（前回確認：令和8年2月19日）

- ・現場確認時に作業は行われていなかったが、エリア北西部において、鋼矢板を敷設するための準備工として先行掘削作業が進められていた。（写真1）
- ・掘削作業で発生した土砂や瓦礫類は、分別され、エリア内に仮置きされていた。（写真2）
- ・確認した範囲では、撤去物の飛散や港湾への油漏えい等の異常は認められなかった。

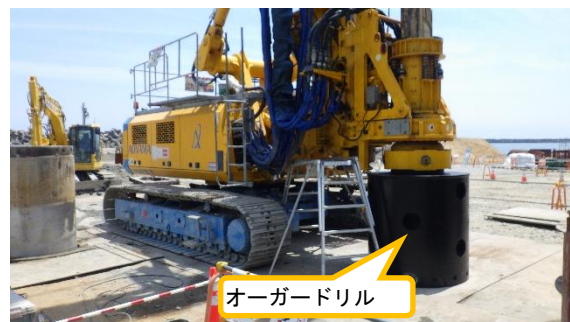
※重油が浸透しているエリアの周辺に鋼矢板を打設する。また、一部区域については、表土の油処理や薬液注入・地盤固化工事を行う。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 掘削作業の状況



(写真1②) 掘削に使用する重機



(写真2①) 土砂の仮置き



(写真2②) 瓦礫類の仮置き

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。